

令和 5 年度

「運営に関する計画」

(中間評価)

大阪市立天下茶屋小学校

令和 5 年 1 1 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

3年間新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの活動について制限があった。今後も、そのような状況が続くと考えられる。子ども達の安全面を最優先に考え工夫しながら取り組みたい。

(学力向上)

学力向上に関しては、今年度から STEAM 教育を推進した。理科教育特に「実験」「観察」の充実に努め、積極的な理科室の利用、学習園の活用、タブレット等の ICT 機器の活用を進めた。さらに理科補助員を配置し実験や観察のサポートを依頼し、また外部から講師を派遣し特別授業を行った。今年度から高校の授業に「情報」が入り、現在の小学生にとっては大学の入試科目になる。早い時期からのプログラミング教育は必要になるので、今後も低学年からでも進められるように準備していきたい。また言語力向上の取り組みも引き続き、読書活動を推進してきた。コロナ禍で図書館ボランティアの活動に制限はあったが、学校司書による読み聞かせ等の取り組み、保護者ボランティアによる図書館開放や図書委員会の活動により、図書室の更なる整備と充実を図り、可能な限り児童が読書への興味関心をもつ取り組みや工夫を行ってきた。さらに区のジャガピースクール、英語コミュニケーション、読書活動推進事業などとの連携を推進した。今後はタブレットを活用した家庭学習、宿題、オンライン授業での活用を進めていきたい。

(教員の授業力向上)

教員の授業力向上に関しては「学力向上支援チーム」のスクールアドバイザーによる全教員の研究授業および研究協議の指導・助言を依頼した。また研究教科を昨年に続き「道徳科」にし、児童自身がわかる楽しさや、自らの課題を見つけ、意欲的に解決する姿勢を育成することもできた。今後も相互授業参観の機会を増やし、特に若手の授業力向上を図りたい。

(健康・体力)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みから、手洗いの励行、毎日の健康状態の管理等を通し健康の保持増進に積極的に努めた。ただ運動場などではマスクの着用はしなくてもよくなったり、給食では大声以外の会話は可能になったりと少しずつ緩和されてきた。歯磨き指導も復活することができた。以前子どもたちの体力低下が心配されているが、今年度は縄跳び週間を1・3学期の2回に増やし、2学期にはかけあし週間でインターバル走を取り入れた。

(規範意識・自尊感情)

学校生活における基本「時を守り、場を清め、礼を正す」では、「時間を守る」「校内をきれいにする」ことの重要性を朝会の場や学校だよりを通して訴え、児童の自発的な行動を目指した取り組みも行った。また児童会活動では「あいさつ週間」を設定し自ら進んで「あいさつ」することの大切さに気付かせることで、思いやる心や感動する心、互いに違いを認め合える、豊かな情操の育成に努めた。いじめや不登校など生活指導における情報交換を教職員間で定期的実施することに加えて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも情報共有し、各家庭との連携を図るなど、問題の解決に努めた。不登校児童は少なからずおり、改善はしていないという問題は残るもののその他の生活指導における問題は解決できている。

(安全教育)

特に、今年度は児童の安全を最優先に取り組んだ。毎日の通学路の見守り活動、巡回は昨年度に引き続き行い、地震・津波や火災に対する避難訓練、集団下校や保護者への引き渡し訓練、不審者対応訓練を実施した。さらに関係諸機関とも連携し、非行防止教室や交通安全教室も実施した。PTAが中心の通学路プロジェクトで危険地点の再確認や子ども 110 番の所在を知らせる取り組みを行った。

(教育環境の充実)

働き方改革が叫ばれて久しくなるが、教員不足の現状もあり少しずつではあるが改善されてきた。

本校でも時間外勤務時間の短縮の取り組みを行った。電話新設に伴い音声ガイドで18:00から8:00までの留守番対応、「ゆとりの日」NO 会議デーの設定、18:00 セットの日を設定を行った。また若手教員によるメンター研修、会議後の校内研修など効率化を図りながら時間短縮に努めてきた。

(課題)

感染対策については、市教委の指示・連絡に沿って取り組んでいくが、学校の実情や保護者の思いもあり、学校としての判断を検討していきたい。

教員の働き方改革を、保護者や特に地域の方にどうご理解していくかが課題である。区や市の協力を得ながら、教員の負担軽減を進めていきたい。

「いじめ」等の問題では、学校だけで問題解決できないケースが多く、スクールロイヤーの活用も検討していきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を全国平均以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を全国平均以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいですか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を全国平均以上にする。
- 令和7年度末の全国学力・学習状況調査における「自分には良いところがありますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を全国平均以上にする。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和7年度までに全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を0.95以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を70%以上にする。
- 令和7年度3学期における校内アンケートで「学習は楽しい」と答える児童の割合を全体の90%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 令和7年度末の運動におけるアンケートで、なわとびタイムの時間になわとびをしっかりと取り組んだという児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の授業日において学習用端末を毎日使用した学校の割合を100%にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査におけるデジタル教材を使った学習は楽しいですかの項目に対して「楽しい」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を50%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおける「学校は、保護者や地域と連携した教育活動を進めている」と肯定的に答える保護者の割合を90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標(全市共通目標を含む)

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標(小・中学校)

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。(R4:73.3%)
- 令和5年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(R4:1.40)
- 令和5年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。(R4:50)

学校園の年度目標

- 令和5年度3学期における校内アンケートで「あいさつが、しっかりできている」と答える児童の割合を全体の70%以上にする。(R4:66.1%)
- 令和5年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。(R4:86.3%)
- 令和5年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童を前年度より減少させる。前年度(R4:0名)

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標(小・中学校)

- 令和5年度の小学校学力経年調査(校内調査)における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を50%以上にする。(R4:44%)
- 令和5年度の小学校学力経年調査において、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。(R4:73%)
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。

	国	算
6年	-0.5	-0.4
5年	+1.3	+0.7
4年	+0.5	+0.5

- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R4:65.1%)
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R4:87.4%)

学校園の年度目標

- 令和5年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一の母集団で比較し前年度より向上させる。

	H30	H31	R2	R3	R4
3年生	92.8	99.1	94.0	99.7	103.5
4年生	94.8	89.4	103.3	93.6	100.2
5年生	96.3	93.9	95.0	100.1	95.2
6年生	96.4	96.3	95.9	94.7	100.1

○令和5年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント減少させる。

	3年生	4年生	5年生	6年生
令和2年度	41.9	9.7	21.6	15.8
令和3年度	12.5	34.4	14.3	23.6
令和4年度	6.3	11.4	20.7	5.7

○令和5年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上、上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント増加させる。

	3年生	4年生	5年生	6年生
令和2年度	19.4	32.3	3.9	10.5
令和3年度	21.9	9.4	25.7	7.3
令和4年度	40.6	22.9	17.2	17.1

○令和5年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答える児童の割合を前年度より向上させる。前年度(R4:71%)

○令和5年度の 全国体力・運動能力、運動習慣調査 において、全ての項目について令和4年度の結果を維持する。

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20M シャトル	50M 走	立ち幅跳び	ソフト投げ	体力合計点
R4男子	19.43	19.86	32.93	26.86	30.71	9.73	139.64	15.83	45.92
R4女子	17.67	18.11	40.33	28.61	26.94	9.59	137.28	10.78	50.17

○令和5年度末の運動におけるアンケートで、なわとびカードの目標や自分の目標を達成できたと答える児童の割合が85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標(小・中学校)

○学習者用端末を活用した家庭学習を週1回実施する。

○令和5年度の小学校学力経年調査におけるデジタル教材を使った学習は楽しいですかの項目に対して「楽しい」と答える児童の割合を前年度以上にする。前年度(R4:64.6%)

○令和5年度の教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を80%以上にする。(R4:78.9%)

学校園の年度目標

○「ゆとりの日」N0会議デーを月1回設定する。

○定時(17:00)セットの日を学期に1回設定する。

○令和5年度末の保護者アンケートにおける「学校は、保護者や地域と連携した教育活動を進めている」と肯定的に答える保護者の割合を前年度以上にする。前年度(R4:82.4%)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立天下茶屋小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○令和5年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○令和5年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○令和5年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和5年度3学期における校内アンケートで、「あいさつがしっかりできている」と答える児童の割合を全体の70%以上にする。</p> <p>○令和5年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。</p> <p>○令和5年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ol style="list-style-type: none"> いじめや問題行動の未然防止に努めるとともに、早期発見・指導・解決に学校全体で取り組む。 基本的な生活態度の育成に努め、規律と秩序のある教育環境の実現に取り組む。 防災・減災教育および安全教育の充実に努め、避難訓練、防災訓練等の実施により災害時等の避難行動の定期的確認に努める。 <hr/> <p>指標</p> <ol style="list-style-type: none"> こども生活まなびサポーターと連携し、スクリーニングシートを作成するとともに、6月と12月に「いじめについてのアンケート」を実施し、いじめの早期発見・早期解決につとめる。また、いじめ・不登校・虐待など生活指導上の問題について、毎月の「スクリーニング会議Ⅰ」で、情報を共有し、共通理解を図る。 学期に1回、あいさつ週間を設定し、あいさつ運動を行う。 4月、9月、1月の生活目標を「登下校の時刻を守る」に設定し、遅刻防止活動に全教職員で共通理解し、家庭との連携を図る。隔週1回異学年での集会を行い、異学年交流の機会を設ける。 地震(津波)、火災、台風および不審者の侵入に対する避難訓練を実施し、災害時の避難行動の定期的確認に努める。 自転車の乗り方について安全教育を実施し、交通安全にとりくむ。 	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
指標 1	現在、「いいところみつけ」の活用を優先しているため、スクリーニングシートの作成はしていない。しかし、いいところでのいじめ・不登校・虐待など生活指導上の問題について、毎月の「スクリーニング会議Ⅰ」で、情報を共有し、共通理解を図っている。6月に「いじめについてのアンケート」を実施し、いじめの早期発見・早期解決につとめた。12月にも実施予定である。
指標 2	4月、9月にあいさつ週間の設定、実施をすることができなかったが、1学期は7月に実施した。2学期は11月に、3学期は2月に実施する予定である。9月の生活目標を「登下校の時刻を守る」に設定したが、大半が守ることができていた。また、児童集会は隔週で実施することがおおむねできた。
指標 3	各災害時の避難訓練は、地震、台風と行うことができた。3学期に火災で行いたい。交通安全指導も11月に実施する予定である。職員の緊張感や万が一の場面を想定し、職員向けの防犯訓練を行う。また、今年度より自転車運転の際ヘルメットの着用が努力義務になっているので、交通安全指導を中心に呼びかけていく。
次年度への改善点	
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】	
1 道徳年間指導計画に基づき、道徳の時間はもとより全教育活動を通じた道徳教育を行う。	
2 一人一人を大切にする人権教育を推進するとともに、特別支援教育の充実を図る。	
3 さまざまなものに触れ合い、個性や想像力、自分を表現する力をはぐくむ情操教育を推進する。	
4 多文化共生教育の取り組みを推進する。	
指標	B
1 令和5年度末の校内アンケートで「学校のきまりを守っていますか」という設問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答える児童の割合を前年度より向上させる。	
2 平和について学び考える期間を設け、命の大切さを強く認識させる。特別支援教育について支援方法の工夫・充実に努め、教育委員会等と連携のもと児童理解研修を実施する。	
3 豊かな情操を育むため、芸術にふれあう機会を設ける。地域の方を講師として迎え、我が国や地域の文化・伝統を学ぶ体験活動を実施する	
4 多文化共生教育を推進する取り組みとして「フレンドクラブ」を開催する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
指標 1	道徳教育の全体計画や年間指導計画に基づき、道徳の時間を確保し、各学年で学習を進めている。
指標 2	人権教育の取り組みとして、平和学習「ピースてんがちゃや」を実施した。各学年で戦争についてのビデオを視聴し、1学期末懇談会時に玄関に掲示する事で児童はもちろん保護者も児童の平和についての考えを知るきっかけとなった。特別支援教育については、特別支援学級に在籍する児童の支援計画についての研修を年度初めに行い、支援を要する児童についても教職員全体で共通理解した。また、11月には長居小学校

	の指導教諭による全体研修や特別支援担当者による通級学級訪問研修も予定している。
指標 3	6月に大阪フィルハーモニー交響楽団に来てもらい、音楽鑑賞会を行った。レザークラフト体験、茶道体験は11月に実施予定。七輪体験や昔あそび体験なども地域の方と連携を図りながら、3学期に実施する予定である。
指標 4	今年度より本校児童の実情に合わせ、ベトナムと中国の国際クラブ指導者を要請し、取り組みを進めている。6月に開講式を行い、1～6年生 58名（外国につながりを持つ児童は中国10名、ベトナム3名、韓国1名）が参加している。学年ごとに中国とベトナム2つのコースに事前に分かれ、それぞれの国際クラブ指導者より1回目（開講式）はリズム歌、2回目は遊び（中国はこま、ベトナムはジャンケンとチョイチュエン）を実施した。活動の終わりにはそれぞれの活動を発表する場を設定し、取り組みを共有している。
次年度への改善点	

大阪市立天下茶屋小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況																															
<div>【未来を切り拓くための学力・体力の向上】</div> <div>全市共通目標(小・中学校)</div> <div>○令和5年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を50%以上にする。</div> <div>○令和5年度の小学校学力経年調査において、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。</div> <div>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。</div> <div>○小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</div> <div>○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</div> <div>学校の年度目標</div> <div>○令和5年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一の母集団で比較し前年度より向上させる。</div> <table><tr><td></td><td>H30</td><td>H31</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td></tr><tr><td>3年生</td><td>92.8</td><td>99.1</td><td>94.0</td><td>99.7</td><td>103.5</td></tr><tr><td>4年生</td><td>94.8</td><td>89.4</td><td>103.3</td><td>93.6</td><td>100.2</td></tr><tr><td>5年生</td><td>96.3</td><td>93.9</td><td>95.0</td><td>100.1</td><td>95.2</td></tr><tr><td>6年生</td><td>96.4</td><td>96.3</td><td>95.9</td><td>94.7</td><td>100.1</td></tr></table>			H30	H31	R2	R3	R4	3年生	92.8	99.1	94.0	99.7	103.5	4年生	94.8	89.4	103.3	93.6	100.2	5年生	96.3	93.9	95.0	100.1	95.2	6年生	96.4	96.3	95.9	94.7	100.1	
	H30	H31	R2	R3	R4																											
3年生	92.8	99.1	94.0	99.7	103.5																											
4年生	94.8	89.4	103.3	93.6	100.2																											
5年生	96.3	93.9	95.0	100.1	95.2																											
6年生	96.4	96.3	95.9	94.7	100.1																											

○令和5年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント減少させる。

	3年生	4年生	5年生	6年生
令和2年度	41.9	9.7	21.6	15.8
令和3年度	12.5	34.4	14.3	23.6
令和4年度	6.3	11.4	20.7	5.7

○令和5年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上、上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント増加させる。

	3年生	4年生	5年生	6年生
令和2年度	19.4	32.3	3.9	10.5
令和3年度	21.9	9.4	25.7	7.3
令和4年度	40.6	22.9	17.2	17.1

○令和5年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答える児童の割合を前年度より向上させる。(R4:71%)

○令和5年度の 全国体力・運動能力、運動習慣調査 において、全ての項目について令和4年度の結果を維持する。

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20Mシャトル	50M走	立ち幅跳び	ソフト投げ	体力合計点
男	19.43	19.86	32.93	26.86	30.71	9.73	139.64	15.83	45.92
女	17.67	18.11	40.33	28.61	26.94	9.59	137.28	10.78	50.17

R4結果

○令和5年度末の運動におけるアンケートで、なわとびカードの目標や自分の目標を達成できたと答える児童の割合が85%以上にする。(R4:85%)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 児童がそれぞれの目標に向けた学習に取り組む姿勢の定着を図る。 2 道徳科を中心に、他教科との結びつきを考え児童の発達段階に応じた適切な指導ができる授業実践を行う。 3 学びサポーター、特別支援サポーターと協働しながら、個に応じた指導を行う。 4 理科専科教員が中心になって、実験・観察の授業を増やす。 <hr/> <p>指標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学力経年調査にむけて、自分自身が設定した目標（合格等）を達成するよう取り組ませ、結果について自己反省を促させる機会とする。 2 体育科を研究教科として計画的に授業研究を進め、一人1回以上の公開授業に取り組む。同時に他の教科・領域についても研修を進め、教員の指導力向上に努める。 3 年度末に実施する「学校生活アンケート」の次の項目について、肯定的回答の割合を令和4年度の結果より向上させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「学習は楽しい」(R4:67.3%) ・「調べたり発表したりする学習は好きである」(R4:46.8%) ・「宿題や学習道具の忘れ物は、ほとんどない」(R4:50.2%) 4 月に1回以上、理科室を利用する。学期に1回以上、学習園を利用する。 	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
指標 1	学力経年調査にむけて、パワーアップタイムを利用して既習学習の復習や、個に応じたつまづきのある箇所に戻って取り組むことができるデジタルドリルを活用しながら基礎基本の確実な定着を図っている。また、3年生以上では習熟度別学習や少人数指導で学習を進め、きめ細かく指導にあたることにより個々の理解が深まるように取り組んでいる。
指標 2	6月に5年生、9月に6年生での体育科の授業研究を実施した。今後は10月に3年生、11月に1・2年生、1月に4年生の実施予定である。また、その他の教員も計画的に公開授業に取り組み、互いに見合うことで校内での指導力向上に努めている。
指標 3	学びサポーター、特別支援サポーターと連携しながら、国語科、算数科を中心とした必要な教科で教室へ入り込み支援を行い、音読や視写、計算などの基礎的な学力が身につくよう、個に応じたきめ細やかな支援を続けている。
指標 4	6年の学習を中心に理科室での実験・観察の回数を増やしている。第4学年で1回、第5学年で4回、第6学年では6回理科室で学習を行った。学習園では植物の学習で第3学年を中心に利用し5回以上学習で活用している。
次年度への改善点	
取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】	
1 全校で英語に触れ合う時間帯を設定し、低学年からの英語学習の取り組みを推進する。 2 蔵書管理充実に向けた環境整備を進めるとともに、保護者や地域と連携して本に親しむための催しを企画することにより、読書への興味関心を高める。	
指標	B
1 「DREAM」などの教材から、毎月の「歌」や「お話」について全校一斉学習を行い、全学年で英語活動を実施する。 2 学校図書館補助員及び図書館ボランティアによる協働運営体制づくりを継続発展させるとともに、バーコードによる蔵書管理を充実させるための環境整備を行う。 ・授業時間以外での図書館の開館回数を35回以上にする。 ・図書委員会による積極的読書活動の起点となる活用を図り、児童ひとりあたり年間読書数の目標を20冊とする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
指標 1	パワーアップタイムでは週1回、英語の時間を設定して低学年では簡単なABCソングから慣れ親しむことから始めている。また3年生以上では「DREAM」を活用し、ネイティブスピーカーとのチームティーチングで授業を進めている。また、コミュニケーション能力を高めることを目的として、1月には「英語コミュニケーション事業」を活用して外部講師を招いて英語活動を実施する予定である。10月に、外国語指導巡回訪問を依頼し、教員の指導力向上を目指している。
指標 2	週1回学校司書が来校し、読み聞かせ活動やブックトーク、図書館開放を行っている。今年度は、週1回PTAによる図書館ボランティアの図書館開放を行っている。年始には、図書館ボランティアと連携して、おみくじを引く催しを行う予定である。蔵書管理や蔵書構成の充実のために、学校司書による貸出可能図書や新書のバーコード登録化、蔵書のNDC順への整理を行っている。図書委員会や図書館ボランティアによる

<p>授業時間以外での図書館の開館回数は、現在29回である。図書委員会の活動では、週2回の昼休みの図書館開放と週一回の紙芝居の読み聞かせ活動を行っている。毎週1～2回読書タイムを行い、図書館から読書タイム用の本を借り、児童が本を読む環境を設けている。読書週間では、図書委員会で読書カードを用いた読書活動を行う。年間読書数の目標である20冊が達成できている児童は現在87%である。</p>	
次年度への改善点	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発達段階に応じた睡眠に関する指導により健康への意識づくりを行う。 2 手洗いの励行などの日常指導による感染症予防に努める。 3 食育指導の充実につとめ、給食時間における「食」への興味関心を深める取り組みを行う。 4 体力づくり、運動習慣の定着をめざし、「なわとび週間」を設定する。 	
<p>指標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度全国学力・学習状況調査における「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」の項目について肯定的に答える児童の割合を前年度より増加させる。(R4年度 86.5%) 2 感染症予防について、1・2年生で特別活動、3年生以上で感染症・手洗いに関する保健学習を実施し、進んで手洗いができるように指導すると共に、「保健だより」等により保護者への啓発を行う。 3 ・6月に「食育週間」1月に「給食週間」を設定し、食育を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・給食だより・栄養だよりの定期的な発行により保護者への啓発を行う。 ・令和5年度末の校内アンケートにおける「給食は、しっかり食べている」の項目について、「当てはまる」と答える児童の割合を前年度より増加させる。(R4年度 63.9%) 4 「なわとび週間」を実施し、年度末の運動アンケートにて、「なわとびタイムの時間になわとびをしっかりと取り組んだ」という肯定的回答の割合を前年度より増加させる。(R4年度 96.0%) 	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
指標 1	2学期に睡眠に関する実態調査を行い、それに応じた保健教育を行っていききたい。全国学力・学習状況調査における「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」の項目について肯定的に答える児童の割合は(R5年度 71%)であった。
指標 2	冬の感染症が流行する季節に向けて、感染症予防についての保健教育を行っていききたい。また、CO2モニターを活用していく。保健だよりでは、随時、保護者への啓発を行っている。
指標 3	6月に食育習慣を設定して残食調べを1週間実施した。残食の少なかったクラスを全校朝礼で表彰することで食への関心が高まるように取り組んでいる。今後も11月、1月に実施する予定である。また、今年度は近隣校より栄養教諭に来校してもらい各学年、年間2回ずつ栄養指導を実施して食育活動に努めている。
指標 4	令和4年度のスポーツテストの結果から跳躍力と持久力が平均値と比べて低いことから体力を向上させるために、年に2回ずつ「なわとび週間」と「かけあし週間」を設定して低・中・高で難易度を分けたなわとびカードを活用し、児童が積極的に取り組めるように工夫を凝らして取り組んでいる。すでに、「なわとび週間」と「短なわ大

会」は5月に実施済である。今後は1月末に「なわとび週間」と合わせて「大なわ大会」も実施を予定している。また、12月と1月に「かけあし週間」の実施を予定して楽しく運動に慣れ親しむ機会を増やしている。
次年度への改善点

大阪市立天下茶屋小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習者用端末を活用した家庭学習を週1回実施する。 ○令和5年度の小学校学力経年調査におけるデジタル教材を使った学習は楽しいですかの項目に対して「楽しい」と答える児童の割合を前年度以上にする。前年度(R4:66.4%) ○令和5年度の教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を80%以上にする。(R4:78.9%) <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ゆとりの日」NO会議デーを月1回設定する。 ○定時(17:00)セットの日を学期に1回設定する。 ○令和5年度末の保護者アンケートにおける「学校は、保護者や地域と連携した教育活動を進めている」と肯定的に答える保護者の割合を前年度以上にする。前年度(R4:82.4%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 メンターの活用により若手教員の育成をはかる。 2 派遣教育指導員の活用により、効果的な授業研究を伴う校内研修の充実をはかる。 <p>-----</p> <p>指標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 若手教員に対して、指導法や児童・保護者対応について、研修に参加したメンターを中心とした意見・情報交換等を行う研修会を学期に1回開催する。 2 研究授業の際、外部指導者を招聘し、指導内容について、専門的見地からの指導助言により深く検証を行える効果的な校内研修を実施する。全教員による授業研究を実施し、研修成果についてまとめる。 	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
指標 1	若手教員に対して、指導法や児童・保護者対応について、研修に参加したメンターを中心とした意見・情報交換等を行う研修会を1学期に3回開催した。2学期にも11月に実施予定である。
指標 2	今年度はスクールアドバイザーとの連携を図り若手教員を中心とした授業改善の機会を設定して取り組んでいる。主に算数科の授業を中心に昨年度の市経年調査の結果からみえる本校の課題を共有し、指導力の改善と向上に努めている。 また、本校の研究教科である体育科「表現運動」に関わる職員研修に外部指導者を招聘し校内で実施した。
次年度への改善点	
取組内容②【基本的な方向 6 教育DXの推進】	B
1 タブレットを活用した授業を推進するとともに、プログラミング教育の実践に努める。 2 オンライン学習を計画的に実施する。	
指標	
1 ICT活用に努めるため、機器の使用手法や教材の工夫となる研修の実践を行い、学習に活用する。 2 端末を活用して、1・2年生はコミュニケーションを中心とした学級活動や学習活動、3年生以上はオンライン学習を学期に1回以上行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
指標 1	学期に2回程度、校内でのプログラミングやTeams、まなびのポータルなどの活用研修を実施して、様々な活動で使えるように知識を高めている。1人1台端末は各学年毎日使用している。今後活動の幅を広げられるようにプログラミング研修などを実施する予定である。
指標 2	5月に実施した防災学習では、引き渡し訓練後、学習者用端末を使って児童宅と学校教室双方をオンラインで接続した。低学年では折り紙の折り方、中高学年ではパワーポイントを使って既習事項の振り返りを行った。また保護者のお迎えがなかった学校待機児童については、学校内で個人端末と教育情報利用パソコンを接続して参加した。運動会に向けて、ダンスの振り付け等動画をアップロードし、自宅で学習者用端末を見て練習したり、発表ノートで課題提出を行ったりしている。
次年度への改善点	